

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	20002001	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	認知発達の霊長類的基盤		
研究代表者名 (所属・職)	松沢 哲郎（京都大学・霊長類研究所・教授）		

【平成23年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<b>(評価意見)</b>		
<p>本研究は、霊長類の認知について、世界的にトップレベルの研究成果を生み出しており、この研究分野において国際的にリードしているといえる。また、研究成果の発信も国の内外を問わず十分なされている。国際的に1級の専門誌における発表だけでなく、一般向けの知識普及活動もなされており、この点も高く評価できる。ただ、人とチンパンジーの認知機能の発達の变化にどのような違いがあるのかについては、現段階では十分に解明されているとは言い難いが、今後の進展が期待される。</p>		

【平成25年度 検証結果】

検証結果	<p>研究代表者による著書『想像するちから—チンパンジーが教えてくれた人間の心』には、本研究の成果が多数盛り込まれており、以前の長期研究の成果と併せて、チンパンジー認知研究の集大成である。同書は毎日出版文化賞を受賞し、社会的にも高い評価を得ている。論文発表も、英文一流誌での発表数が非常に多く、そのうちの何篇もが海外メディアで紹介されている。被引用件数も非常に多い。</p> <p>また、研究代表者のみならず研究分担者、若手研究者も国内外の学会で極めて精力的に発表や招待講演を重ねている。そのうちの一人（平田 聡氏）が、本研究期間中に日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞をダブル受賞したことは特筆できる。</p> <p>本研究は特別推進研究の連続4期目であるが、既に5期目もスタートしており、一層の発展が期待される。</p>
A+	